

# Rotary Club of Satte Chuo



2018-2019年度RIテーマ

インスピレーションになろう  
BE THE INSPIRATION

会長 大橋 秀樹 事務所；埼玉県幸手市南2-6-20 G-Five内  
幹事 石橋 久充 〒340-0156 TEL&FAX 0480-44-0056  
例会日；毎週火曜日19：30～20：30 例会場；G-Five 1階会議室

国際ロータリー会長 第2770地区 ガバナー **2019年 4月 9日 火曜日**  
バリー・ラシン氏 中川 高志氏（大宮RC） **第961回例会 No.38**

[開会]

[開会点鐘]

[国歌・ロータリーソング斉唱]

君が代 / 奉仕の理想

[ロータリーの目的唱和]

[四つのテスト唱和]

[結婚月・誕生月のお祝い]

4月結婚月・・・瀬川裕史会員・森田 心会員  
小島比ろ子会員



4月誕生月・・・芝田佳三会員・小林達郎会員  
村上 覚会員



[会長挨拶] 大橋秀樹会長

今日は最近のプラモデル事情についてお話しします。プラモデル雑誌の最新号でも表紙はガンダムで、常に新作が作られ 1980 年から 35 年間で 4 億 4500 万個のガ



ンプラを販売したそうです。5年前にガールズ&パンツァーという女子高生が戦車を駆るアニメが登場しました。華道や茶道と同じように戦車道が大和撫子のたしなみとされ、全国戦車道大会で他校の戦車と戦います。このヒットで今までマニアにしか売れなかった戦車模型が爆発的に売れ、今度は同じ監督が「荒野のコトブキ飛行隊」という女子が隼や零戦を操縦するアニメを発表しました。正に今の日本経済を支えているのはオタクであるわけですが、ハリウッド映画のように「戦争はカッコいい」と洗脳されなければよいと思っています。

[幹事報告] 石橋久充幹事

・幸手市さくらマラソン実行委員会より協賛のお礼状が届いています。

・春日部イブニングロータリークラブより創立25周年記念式典の案内が届いています。

・小林会長エレクト、印田20周年実行委員長、池田ガバナー補佐と私の4名で出席予定です。

・米山記念奨学会から中田会員に米山功労者の表彰が届いていますので会長から渡していただきます。



[米山功労者表彰]

中田盛夫会員



[本日の例会] PETS 報告

小林達郎会長エレクト

皆様、こんばんは。先月 3 月 14～15 日に開催されました PETS(会長エレクト研修セミナー)に参加してきました。次年度の RI のテーマ、RI 会長方針、第 2770 地区ガバナーの方針等お話しさせていただきます。



まず、2019-20 年度国際ロータリー会長に、ジケーター・ロータリークラブ(米国アラバマ州)所属のマーク・ダニエル・マローニー氏が選出されました。税法、遺産、農業法を専門とする Blackburn, Maloney, and Schuppert 法律事務所の社長であるマローニー氏は、米国南東部・中西部の大手農、場経営者の顧問弁護士であるほか、米国弁護士協会の農業関係委員会の委員長を務めています。また、米国弁護士協会とアラバマ州弁護士協会、アラバマ州法律協会の会員です。地元ジケーターでも熱心に活動し、自身が所属する協会の財務委員長と地元カトリック学校理事長のほか、Community Foundation of Greater Decatur 会長、Morgan County Meals on Wheels 会長、United Way of Morgan County 理事、Decatur-Morgan County 商工会議所の所長を務めています。

1980 年にロータリークラブ入会し、以来、RI 理事、財団管理委員と副管理委員長、ジョナサン・マジアベ 2003-04 年度会長のエイドを務めました。また、規定審議会の議長と副議長、運営議事手続きの専門家、研修者のほか、2004 年大阪国際大会委員会のアドバイザー、2014 年シドニー国際大会の委員長も務めました。ガバナーとなる前には、研究グループ交換のリーダーとしてナイジェリアに赴いた経験もあります。

ロータリー財団関連では、未来の夢委員長、ロータリー財団地域コーディネーター、財団研修セミナーのモデレーター、恒久基金米国アドバイザー、平和センター委員、WASH(学校での水・衛生)委員会のアドバイザーを歴任しました。

同じ法律事務所の弁護士であり、ジケーター・ロータリークラブの元会長でもあるガイ夫人とともに、ポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、遺贈友の会会員となっています。クラブはロータリーの心臓部であり、ロータリーのあらゆることはクラブで起こる」とマローニー氏。弁護士であるマローニー氏は、草の根レベル

でクラブをサポート・強化し、奉仕を大切にする会員制組織としてのロータリーの文化を守り、成長のために地域別の新たなアプローチを試みたいと考えています。

「ポリオが撲滅されれば、ロータリーが大きく認知され、多くの機会が訪れるでしょう」。そう語るマローニー氏は、世界でよいことをするグローバルな組織としてロータリーが世界を先導する立場に立てる可能性があると考えています。

2019-20 年度の会長テーマは、

「ロータリーは世界をつなぐ」

(Rotary Connects the World) です。

要旨;

ジケーター・ロータリークラブ(米国アラバマ州)所属のマーク・ダニエル・マローニー会長エレクトは 1 月 14 日(月)米国カリフォルニア州サンディエゴで開催の時期ガバナーエレクトへの研修行事ある国際協議会で、より力強いロータリーを築くためのビジョンを発表し、地域社会とのつながりを広げるために、革新的な会員モデルを導入していくことをクラブのリーダーに呼びかけ、2019-20 年度の会長テーマ、「ロータリーは世界をつなぐ」を発表しました。

活動の協調事項を4つ

その1、「ロータリーを成長させること」

・私たちの奉仕活動やプロジェクトのインパクトを成長させること、また最も重要なのは、これからより多くのことを達成するために、会員を増やすことです。

・ロータリーでの経験の中核にあるのは「つながり」である。

・ロータリーで私たちは、お互いの違いを超え、深く、意義あるかたちでお互いにつながるができる。

・ロータリーは、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、職業上の機会、私たちの支援を必要とする人たちとのつながりをもたらしてくれる。

・多様な会員から成る会員増強委員会を設立することで、現在クラブに反映されていない地域社会の人たちを特定するようすべてのロータリークラブとローターアクトクラブに促す。

・ユニークなネットワークを駆使するロータリーを通じて私たちは、人類の素晴らしい多様性とつながり、共通の目的において末長く続く深い絆を創り出します。世界が

これまで以上に分断する今日、私たち全員をつなぐのはロータリーです。

## その2、家族

- ・忙しい職業人や家庭の都合で忙しい会員にもリーダーの役割を果たしてもらえよう、さまざまな例会の内容や奉仕プロジェクトの機会を提供するよう促す。
- ・ロータリーでの活動と家族との時間が競合せず、互いに補完し合うような文化を作っていく必要がある。
- ・現在の文化を変えるための現実的なステップを取ること、つまり、期待値を現実的に受け止め、スケジュール作りを熟考し、すべてのレベルのロータリー行事に子どもを受け入れることを意味する。

## その3、リーダーとなるようにする道を開く

- ・忙しい職業人には、違う時代、違う世代に合わせて作られたロータリーの仕事は無理、今こそ適応し。文化を変えるときが来た。
- ・自分の地区でリーダーシップの文化を変え始めてください。

### 上記3つはロータリーの構造と機能に焦点

ロータリーはそれが奉仕する世界に存在するのであり、世界を「つなぐ」ために奉じている。

## その4、国連とのパートナーシップ

- ・「持続可能な開発目標(SDGs)」を共有
- ・ロータリーは、より健康で、平和で持続可能な世界に向けた国連の公約を共有
- ・ロータリーのインフラは、奉仕と平和という精神の下に世界中の人々をつなぐことができ、目標に向かって意義ある行動をおこすことができる。

ロータリーのビジョン声明「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

- ・ロータリアンは行動人
- ・ロータリアンはインスピレーションを持続可能は真の変化に変える力を持っている。
- ・変える力はロータリーという土台
- ・私たちはロータリーを通じて「つながり」ます。
- ・この「つながり」で、ロータリーがなければ出会うことがなかった人々、職業上の機会、私たちの支援を必要とする人たち、また地域社会、クラブの会員、世界のコミ

ュニティの人たちがつながっている。

世界がかつてないほど分断されている今日、私たち全員をつなぐのはロータリーです。

### 2019-20 年度第 277 地区活動方針

ロータリーは世界をつなぐ  
(Rotary Connects the World)

### 2019-20 年度第 2770 地区運営方針

ポリオ撲滅活動から、クラブ活性化へ

2019-20 年度第 2770  
地区ガバナー 小林 操

ロータリアンの皆さん！

ご自身のお子さんが小さい時を、またいまお孫さんを思い出してください。風邪を引き発熱し、ダラダラ続いたら、心配するでしょう。そして、それがポリオだったら…治す薬が無い！一生障害が残ると医者から言われたら、親の気持ちはだれでも一緒です。あと少しで、天然痘以来 2 つ目の感染症が根絶されます。身近な実感として、ポリオ撲滅活動を最後まで成し遂げましょう。

なぜ、いま日本でポリオ撲滅活動をしなければならないのか。ロータリーの最優先事項になっているからだけではありません。

そこには 3 つに理由があります。

### 1.世界のパリオ根絶が日本にどう関係するのか。

・史上 2 番目の病気の根絶という歴史的快挙に大きな役割を果たした国として日本の名が刻まれ、今後の大きな成長が見込まれる医療領域において、日本の国際的地位が向上します。

・日本の子供たちがポリオの予防接種を受ける必要がなくなり、これまでのポリオの予防接種にかけていた費用を他の政策に使うことができます。

### 2.ポリオ根絶は本当に可能なのか。

・ポリオ感染者数は 1988 年当時に比較して 99.99%削減されています(2018 年には 33 件)。

・1988 年に 125 ケ国あった常在国は、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの 3 か国までに減少しています。

### 3.どうして日本が根絶に取り組むのか。

・日本は過去に集団予防戦略で国内のポリオを制圧した先駆者であり、ポリオ対策の成功例として世界のポリオ根絶への取り組みに影響を与えました。

・日本は国内のポリオ根絶の経験を活かして、国外でも官民をあげてポリオ根絶に取り組み、2000年に達成された西太平洋地域のポリオ根絶に大きく貢献しました。  
・残るポリオ常在3カ国に対しても、さまざまな支援を行っており、国際社会から大きな期待を寄せられています。（One Action for Global Polio Eradication 引用）

2019-20年度国際ロータリー会長マーク・ダニエル・マロニー会長は、講演の挨拶の中で、私たちの役割として以下のように話されました。

「ロータリーだけでなく、どの組織でも、リーダーの目標は、決して「可能な限り最大限を達成すること」であるべきではありません。真のリーダーの目標は常に、「周りの人が可能な限り最大限を達成できるようにすること」であるべきです。皆さんが素晴らしい仕事をすると信じて疑いませんが、今週とその先に注目していただきたいのは、地区とクラブが最大限に活動できるように導くには何が必要か、ということです。皆さんの役割は、クラブで活動するロータリー会員を支援すること、そして、より強い組織を築くことです。これは、次年度の皆さんの役割であり、私の役割であり、私たちが分かち合っている役割です。そのために私たちは、新しい戦略計画に沿って協力します。すなわち、より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げ、参加者の積極的なかわりを促し、適応力を高めるのです。」と。

ロータリーはその目的のもと、共通の価値観をもち具体的目標に向かい活動します。ロータリアンは地域社会で、職業上の機会、世界中のあらゆるところでリーダーとして、その役割を担っています。

国際ロータリー、世界共通の活動、ポリオ撲滅活動を「周りの人が可能な限り最大限に達成できるように」第2770地区より発信しようではありませんか。

「ロータリーはポリオ撲滅活動をしている」と、しっかりアピールすれば、その活動はクラブ活性化につながることは確かです。



## 2019-20年度地区目標

- ・世界ポリオデー10月24日に全クラブがイベントを開催し寄付を勧奨する
- ・クラブ戦略計画(又はビジョン)を作成し年度計画書に掲載する
- ・全クラブが会員100%MY ROTARYに登録する
- ・全クラブが「ロータリー賞」に挑戦する
- ・会員増強維持、インタクト・ローターアクトの人数を増やし共に積極的に活動する
- ・財務の適正化、クラブ活性化に励む

これらを受けて、次年度の会長所信を発表します。

2019～20年度会長 小林達郎

2019～20年度RIマーク・ダニエル・マロニー会長のテーマは、「ロータリーは世界をつなぐ」です。ロータリーには、会員同士、地域社会、職業上の機会、ロータリーがなければ出会うことがなかった人々とのつながりがあります。ロータリーの奉仕を通じて、行動を起こすためのつながりを築いていきましょう。

2770地区運営方針は「ポリオ撲滅活動から、クラブ活性化へ」です。

ロータリーが長年熱心に取り組んできたポリオ撲滅が達成されれば、ロータリーの認知度も高まるはず。また、それによりクラブ活性化、会員増強につなげていきましょう。

幸手中央ロータリークラブは、今年度創立22年目を迎えます。今までのクラブの蓄積された情報はもとより、会員同士のつながりを基に、会員増強、奉仕活動、会員同士の親睦、例会の内容など情報交換をしたいと思います。また、マイロータリーや2770地区の情報も大いに活用し、クラブ活性化につなげていきましょう。

幸手中央ロータリークラブのテーマ「ロータリーを活用しよう」

具体的な活動

- ①会員増強 目標会員30名。
- ②ポリオ撲滅活動、世界ポリオデー10月24日にイベ

ントの開催。

③ポリオワクチンのためのペットボトルキャップの回収。

④交換留学生への支援。

⑤日本保健医療大学ローターアクトクラブへの支援、協力。

⑥地域への奉仕。

以上、宜しくお願い致します。

●村上 覚会員

本日もよろしくお祈いします。

●中田盛夫会員

小林会長エレクト、ベツツお疲れ様でした。

本日の合計	¥16,000
本年の合計	¥438,500

[閉会点鐘]

[出席報告]

	会員数	出席者数	MU	出席者数計	%
本日	26	15	3	18	69.23%
前回修正	26	26	0	26	100.00%
前々回修正	26	12	4	16	61.54%

[スマイルボックス報告]

●小島比ろ子会員

会長エレクトさん、お誕生日おめでとうございます。

結婚祝い有難うございました。

●小林達郎会員

誕生祝いありがとうございます。

次年度よろしくお祈いします。

●金子桐絵会員

森田さん、小島さん、小林さん、おめでとうございます。

●石橋久充会員

小林エレクト、次年度近づいてきましたね。

よろしくお祈いします。

●井上 亮会員

例会を2回(私用・韓国行き)休んでしまい、申し訳ありませんでした。

●大橋秀樹会員

本日も例会出席有難うございます。

●森田 心会員

新入社員。

●金子卓司会員

無事、イスラエルより」帰国しました。

●池田岩夫会員

今年度も残り3ヶ月となりました。

寒暖の差が激しいです。

例会の出席は、ロータリアンに課せられた最低の責任です。欠席の連絡は、必ずお祈い致します。

クラブ事務所 TEL&Fax 0480-44-0056

公共イメージ委員会

村上 覚 佐野嘉彰